

町長の夏休み！

町長の夏休みをようやく9月29日と30日に取らせて戴き、北海道に1泊2日の弾丸ツアーで行って来ました。29日は午前中に入札等の仕事があったため、午後3:00の羽田の便で向かいました。国内線第2ターミナルのANA（全日空）では飛行機の手配が着かないとか言って遅れに遅れました。搭乗が始まったのが午後3:45、羽田を出たのが午後4:10です。乗客の皆様は偉いなと思ったのは、私が東武鉄道に勤めていた頃、電車は5分遅れただけで苦情です。30分も遅れた際には、窓口に詰め寄って「運賃返せ！」でしたが、羽田空港の65番搭乗口に詰め寄って文句等を言う方は一人も居りませんでした。



(札幌市内の交通網)

新千歳空港に着いたのは午後5:30です。そこからJRの電車（エアポート）で札幌駅に着いたのが午後7:00ちょっと前です。荷物を駅前



(札幌の地下鉄網)

のホテルに預けて直ぐに地下鉄で「すすきの」に移動し、北海道の味覚を堪能させて戴きました。夢にまで見た「活イカや鮎あわびのお作り」やウニまでもが「ようこそ」とばかりにビールをお代わりさせてくれました。そして次の日、朝早くから札幌市内の散策です。目的は札幌の都市計画を研究することです。

札幌の中心市街地は、直線道路が等間隔で直角にクロスする、いわゆる「碁盤の目」のような都市計画で造られています。大通公園を中心に北へ、

北一条西三とか、北二条西二とか…、南へ、南一条東三、南二条西三とか…となっています。南三条から南四条は狸小路というアーケード街や歓楽街ススキノがあり賑やかです。

一方、北三条や北四条は札幌駅に近く、ホテルや銀行などが多いエリアです。南39条から北51条まで約14km。東西の軸は、東30丁目から西29丁目まで約8kmという、巨大な「座標平面」です。ですから現在のどの位置に居るか通り名を見れば分かるようになっています。そして、現在の「すすきの」は、札幌市民200万人の遊び場であり、歌舞伎町（新宿区）、中洲（福岡県福岡市）と合わせて日本3大歓楽街と呼ばれるとのことでした。



私は、「すすきの」の北に位置する大通公園を散策するのにまずは馬車を選びました。オフィス街に鳴り響く、鈴の音と蹄の音…。札幌観光馬車は、札幌市内の観光スポット

をめぐる御者付きの馬車。街中を車と並んで馬が闊歩する様子は全国的にも珍しいそうです。観光客だけではなく、街行く多くの人々の目をひきつけてやみません。私は、2階建ての馬車の2階部分に乗り込み、大通公園、北海道庁旧本庁舎や札幌市時計台といった名所を約1時間かけてゆっくり1周しました。

その後は、馬車を降りて大通公園内散策をいたしました。北海道という大変広い土地だから出来た札幌の大通公園かも知れませんが、この大通公園を造るのに担当者は「命がけで造った」と、北海道庁出身である中谷の坂上英世さんから伺っておりました。坂上さんは明和町の出身ですが北海道庁に勤務され退職後、明和町にUターンされた方です。新しい川俣駅を造る際には「担当者が死ぬ気でやらねば出来ないよ！」とアドバイスを戴いておりました。(お陰さまで、駅は出来ましたが周囲の開発がこれからです)



そしてこの地を見て、こんな広くて冬の厳しい土地に200万もの人たちが集まっている魅力を感じる事が少し出来たかな?と思いました。

(羊が丘展望台での写真：中央が私)

そうだ、北海道と言えば「BOYS BE AMBITIOUS」のクラーク博士です。札幌農学校(現北海道大学)の初代教頭であったこの人の像は、札幌駅北側の北海道大学構内にある胸像が有名で、昔から多くの観光客が訪れておりました。しかし、有名なあまり観光客が観光バスで訪れることが多くなり、大学の研究活動に支障が出るとして、観光バスの入場を禁止いたしました。そんな事情があり札幌観光協会では、北海道の開

拓のシンボリック的存在であるクラーク博士像を広く全国の人に見ていただくことで、開拓者精神を後世にも伝えていきたいという思いから、クラーク博士の来道100年、アメリカ合衆国建国200年にあわせて、札幌の南端の真駒内にある「羊ヶ丘展望台」に全身像が建立されました。私は、地下鉄（南北線）を使って終点の真駒内駅に向かいそこからタクシーで15分の羊ヶ丘展望台に行きクラーク博士の全身像を見て記念写真を撮ってきました。

この「^ア ^ン ^ビ ^シ ^ャ ^ス AMB I T I O U S」とは、「大志を抱く」という意味です。私は今年還暦の少年？ですが、新たためて明和町の発展という大志を抱き、明和町に新たな胎動を生むように頑張ろうと心に誓いました。

以上が2017年、明和町長の超特急「夏休み」でした。

平成29年10月31日

明和町長 富塚もとすけ